

新千歲市史

通史編 下卷

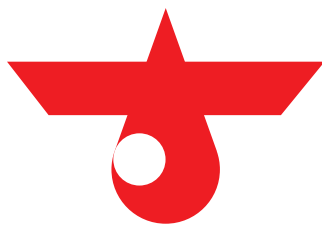
！千歲鏡！

題 字

新千歳市史 千歳市長 山口 幸太郎

千歳鏡 千歳市史編さん委員 三上 禮子

平安から室町時代に成立した『大鏡』、『今鏡』、『水鏡』、『増鏡』（四鏡）や『吾妻鏡』の「鏡物」と呼ばれる歴史書の名にちなみ、千歳の歴史を映し出す鏡として「千歳鏡」と副題を添えた。



千歳市章

ちとせの「ち」を飛行機の形に図案化して、空港がある臨空都市を表現すると共に、国立公園支笏湖とその連山、豊かな大地など伸びゆく千歳の姿を描いています。

歴代市長



初代市長 山崎友吉

昭和33年7月1日就任
昭和34年4月29日退任
(昭和22年民選町長 3期就任)



2代市長 米田忠雄

昭和34年4月30日就任
昭和50年3月22日退任



3代市長 東峰元次

昭和50年4月27日就任
昭和62年4月26日退任



4代市長 梅沢健三

昭和62年4月27日就任
平成3年4月26日退任



5代市長 東川孝

平成3年4月27日就任
平成15年4月26日退任

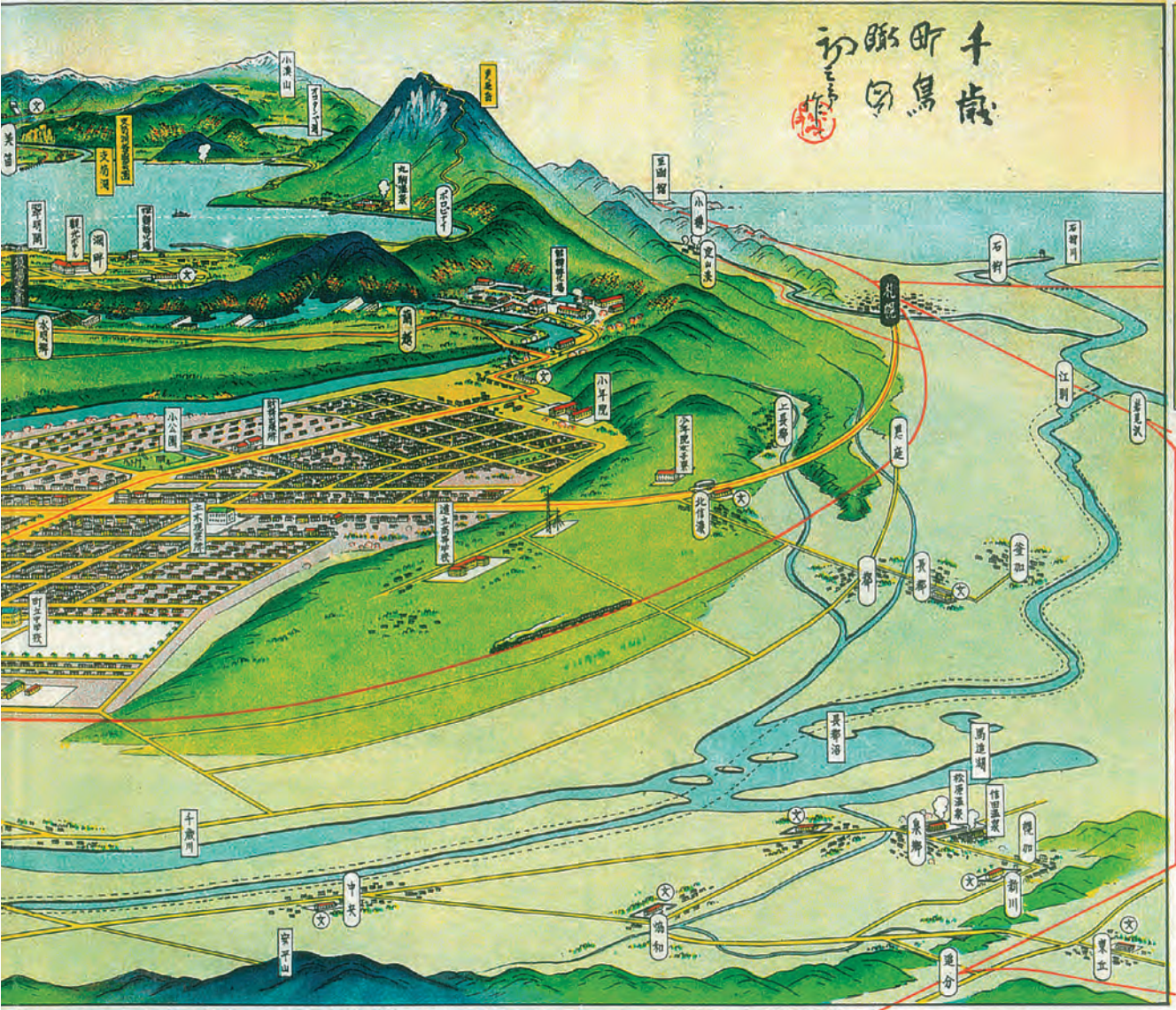


6代市長 山口幸太郎

平成15年4月27日就任

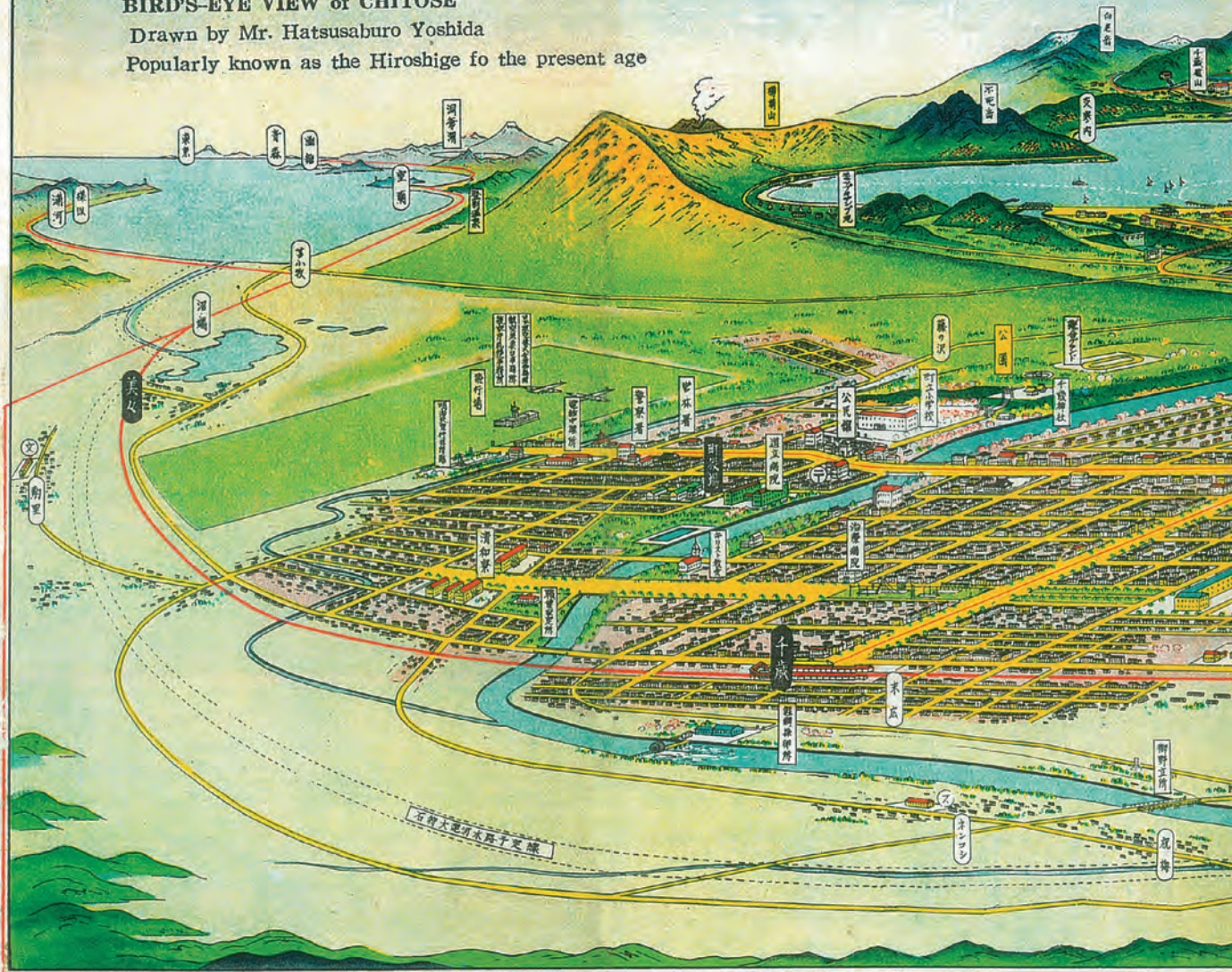
千歳町鳥瞰図

千歳町鳥瞰図
吉田初三郎

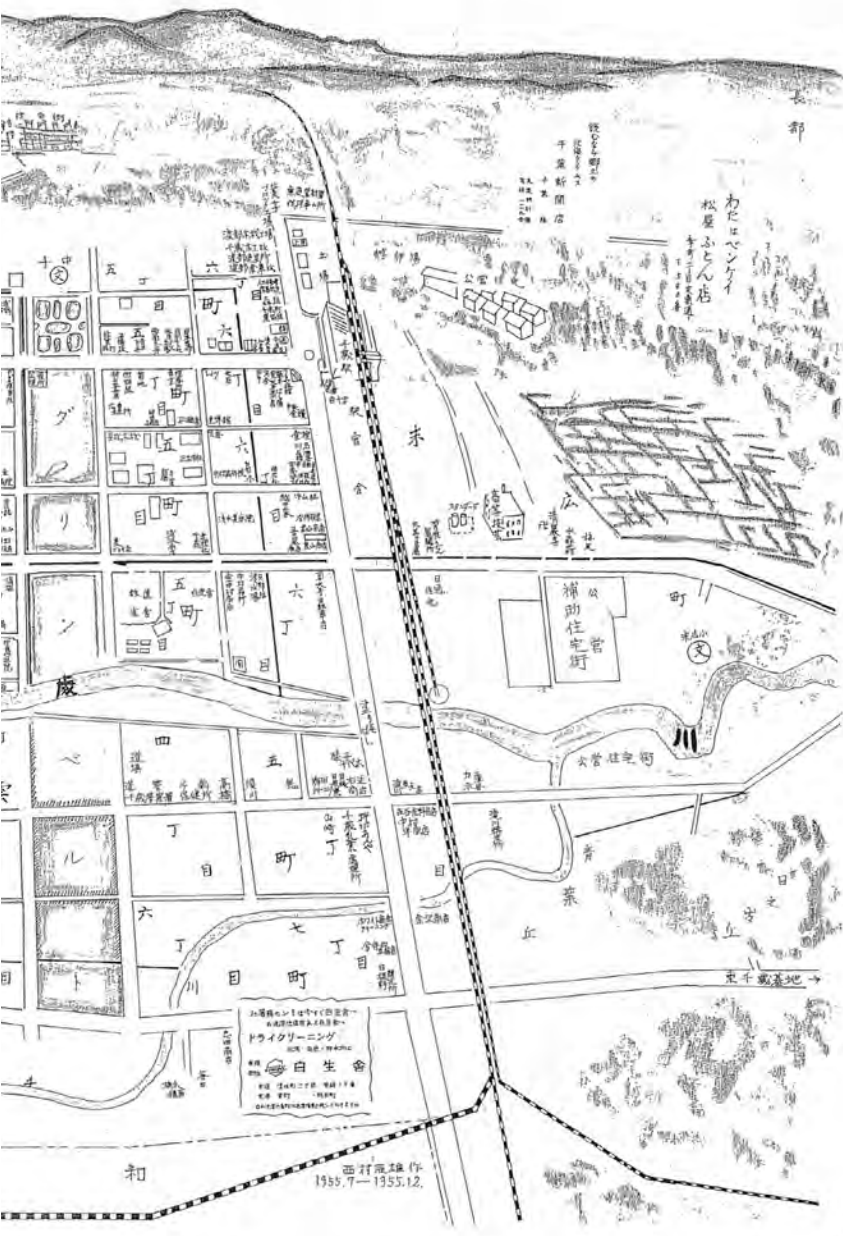


昭和26年の民間航空再開を記念して千歳町が作成したパンフレットに掲載された鳥瞰図。
大正から昭和にかけて活躍した鳥瞰図絵師・吉田初三郎によって描かれたもの。

BIRD'S-EYE VIEW of CHITOSE
 Drawn by Mr. Hatsusaburo Yoshida
 Popularly known as the Hiroshige for the present age



△山一商店 山一商店	三和商事社 三和商事社	ハッピー ハッピー	ミシン ミシン	身体障害者協会 洋服製履工場	ラジオ店 ラジオ店	鈴木盛夫堂薬房 鈴木盛夫堂薬房	浅利商店 浅利商店	みや川 みや川	正月用カタ 正月用カタ
--------------------------	---------------------------	-------------------------	-----------------------	------------------------------	-------------------------	-------------------------------	-------------------------	-----------------------	---------------------------



千歳町市街案内図

何んでも買えます

誠エビス屋営業所

おできくすり

アダチ寫真場

お月は武蔵し

まりも

石澤金物店

吉野菓子舗 吉野菓子舗	千草屋履物店 千草屋履物店	新谷商店 新谷商店	十八番 十八番	大衆食堂 大衆食堂	一福屋 一福屋	三幸 三幸	燗細 燗細	長谷川理容院 長谷川理容院
---------------------------	-----------------------------	-------------------------	-----------------------	-------------------------	-----------------------	---------------------	---------------------	-----------------------------

昭和30年の千歳町を描いた市街案内図。当時の街並みが詳細に描かれている。

伊勢ボデー工業所 伊勢 橋 泰四郎 本町一丁目 電話 三三〇六	串カツ専門店 本町一丁目 電話 二七〇六	日進商事合資会社 電話 二二七〇 本町一丁目 電話 二七〇六	電気工事員 電話 二二七〇 本町一丁目 電話 二七〇六	英商 電話 二二七〇 本町一丁目 電話 二七〇六	牛島電器商會 電話 二二七〇 本町一丁目 電話 二七〇六	千代マゼットの 高足屋履物店 電話 二二七〇 本町一丁目 電話 二七〇六	大森 敬 電話 二二七〇 本町一丁目 電話 二七〇六	大丸高津洋装店 電話 二二七〇 本町一丁目 電話 二七〇六	紳士のサロン 電話 二二七〇 本町一丁目 電話 二七〇六	とらや菓子店 電話 二二七〇 本町一丁目 電話 二七〇六	ハリウッド 電話 二二七〇 本町一丁目 電話 二七〇六	静光堂 電話 二二七〇 本町一丁目 電話 二七〇六	パチンコの横綱 電話 二二七〇 本町一丁目 電話 二七〇六	バラダイス ホール TEL. 578 交差通り
---------------------------------------	-------------------------	--------------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------	------------------------------------	---	----------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------

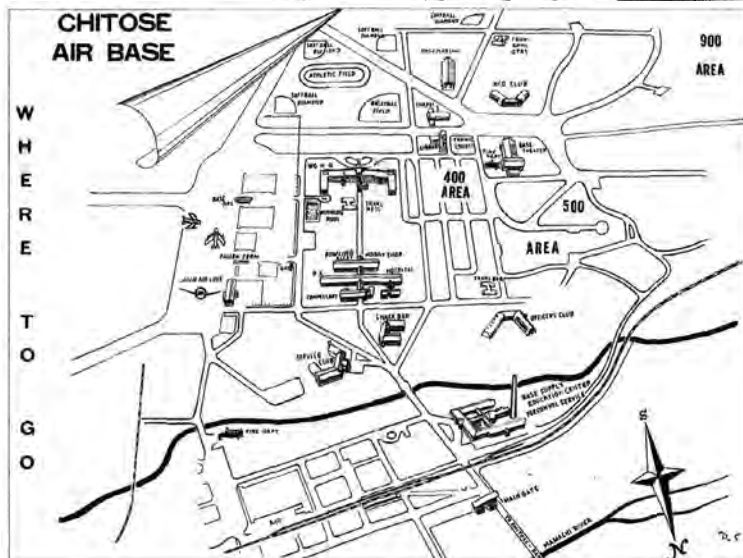
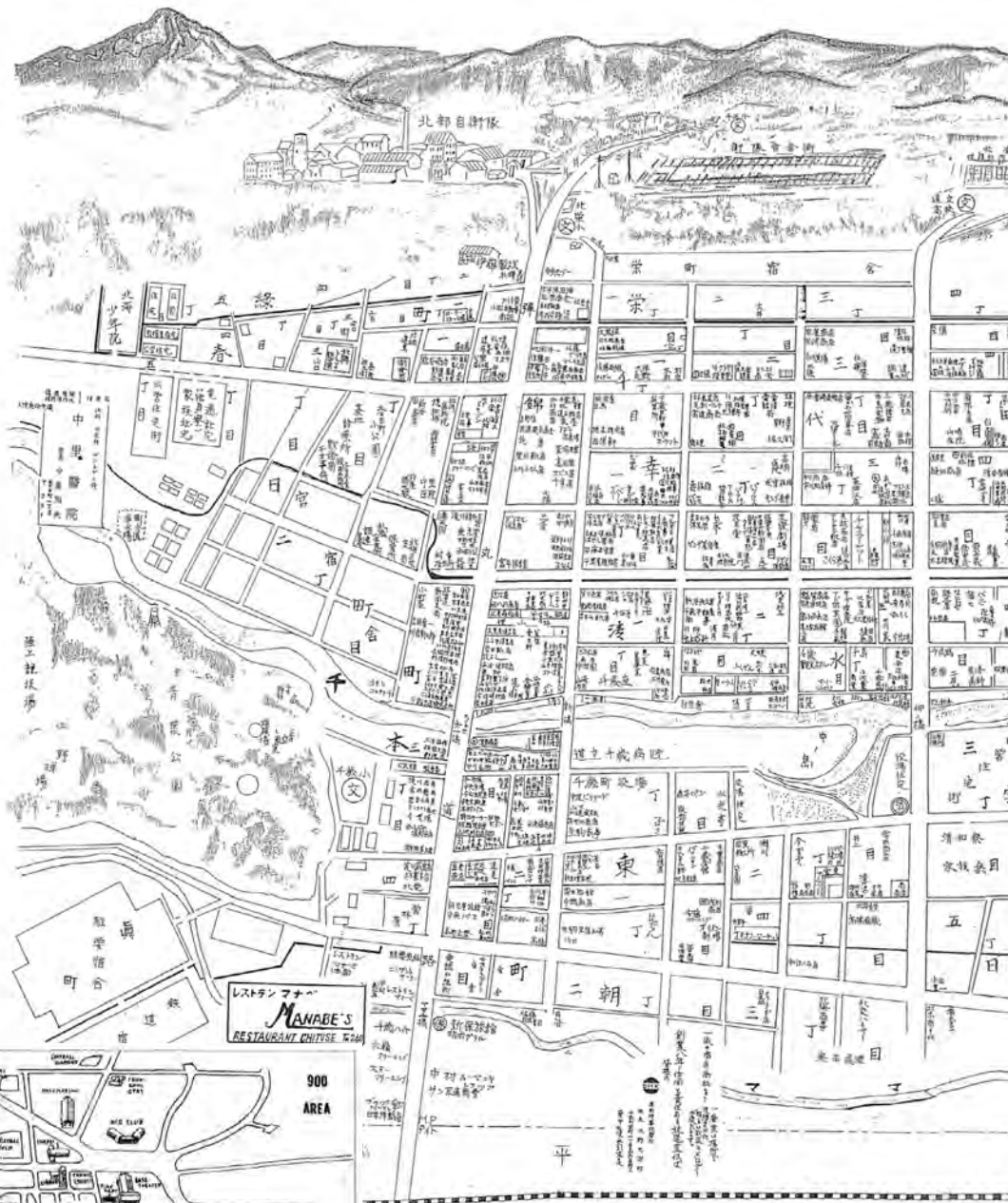
千歳 テーラー
本町一丁目 電話 二七〇六

菅銃砲 釣具店
本町一丁目 電話 二七〇六

林章堂印房
本町一丁目 電話 二七〇六

十文字屋
本町一丁目 電話 二七〇六

可錦屋商店
本町一丁目 電話 二七〇六



木村 齒科 醫院	佐藤 和男 司法書士 本町二丁目 電話 二二七〇	つばき にぎり寿司 本町二丁目 電話 二二七〇	根上 塗料 店 本町二丁目 電話 二二七〇	小川 ふとん 店 本町二丁目 電話 二二七〇
----------	-----------------------------------	----------------------------------	-----------------------------	------------------------------

米空軍第4戦闘航空団『千歳空軍基地案内』1957年版に掲載された基地内配置図。図の右下が市街案内図の「弾丸道路」につながる基地入口。駐機場北端に民航ターミナル、中央に200ビルが描かれている。

市街地空撮

人口の増加とともに市街地が拡大していく様子がよくわかる。戦後間もない頃の市街地はごく狭いものであったが、昭和43年に人口が6万人を超え、55年の鉄道高架によって市街地の分断が解消された。

昭和26年頃撮影（米軍撮影）

→写真中央の逆くの字の道路は駅前通りと支笏湖街道
写真下の建物は旧・北海少年院（熊谷昭提供）
↓千歳川に架かる橋は仲の橋



昭和52年撮影
写真下を走る道路は国道36号



現在の市街地

役場・市庁舎の変遷

初めての役場庁舎は明治42年に室蘭街道に面した千歳神社の入口付近に建てられた。

人口の増加とともに改築され、現・市庁舎は5代目に当たる。



昭和22年建設 町役場庁舎（現・千歳神社第一鳥居南側）



明治42年建設 村役場庁舎（現・千歳神社第一鳥居北側）



昭和25年建設 町役場庁舎（東雲町1丁目）



昭和33年建設 市庁舎（現・総合福祉センター位置）



昭和51年建設 現・市庁舎



平成30年建設 第2庁舎

空港ターミナルビル

昭和26年民間航空再開に伴って米空軍基地内に建設されたターミナルビルは、38年に国鉄線・国道沿いの民間航空専用地域に移転、55年には千歳空港駅が開業しジェット・アンド・レールを実現させた。

平成4年に新千歳空港国内線ターミナルビルが完成、22年には国際線のターミナルビルも供用した。



昭和26年（米空軍基地内）ターミナルビル正面



昭和35年（航空自衛隊基地内）エプロンから見たターミナルビル



昭和38年（民間航空専用地域）千歳空港ターミナルビル



昭和57年 3棟が一体化し、千歳空港における最終形となったターミナルビル 千歳空港駅間の連絡歩道橋は55年に完成した



新千歳空港旅客ターミナルビル
半円形建物＝平成4年完成・国内線ビル 滑走路側建物＝平成22年完成・国際線ビル

千歳駅

初代駅舎は海軍進出により昭和17年頃に改築した。23年に2代駅舎が、28年に3代駅舎が焼失し、29年に跨線橋を備えた4代駅舎が完成した。

昭和55年に千歳線の高架化によって5代駅舎が完成、平成10年にエスカレーター・エレベーターが設置された。



3代駅舎（昭和27年撮影）
駅舎左端に RTO が設置されていた



2代駅舎（昭和20年冬撮影 ASA チトセ協会提供）
昭和21年に左側半分ほどを RTO 用に改造した



昭和29年4月1日供用の4代
駅舎、跨線橋ができる
(昭和30年代後期撮影)



5代高架下駅舎（昭和56年撮影）

道 路

海軍航空隊の開庁、戦後の米軍駐留により、千歳は早い時期から幹線道路の整備が進んでいた。

昭和55年の国鉄千歳線の高架化により街中の道路の様相が変わった。



昭和28年 弾丸道路舗装竣工・千歳橋渡り初め



昭和33年 国道36号千歳橋付近
(ASA チトセ協会提供)



昭和45年 支笏湖畔有料道路



昭和54年 千歳由仁線踏切
(川北通／高架化前)



平成7年 中央大通

歴史的行事

昭和天皇が植樹をした「植樹祭」、東京オリンピック聖火リレー、ボーイスカウトの祭典「日本ジャンボリー」、洞爺湖サミットのジュニア版「J8サミット」など、空港と豊かな自然が生かされて様々な歴史的な行事が開催されてきた。



昭和36年 植樹祭（支笏湖畔モーラップ山麓）



昭和39年 東京オリンピック聖火リレー
（9月10日 市内錦町を札幌に向かって走るリレー隊）



昭和47年 札幌冬季オリンピック
恵庭岳男子滑降コースのフィニッシュ地点



昭和49年 日本ジャンボリー（千歳原）



平成20年 J8サミット



農 業

昔の農作業は人力と馬・牛力だった。長都原野の開発により千歳の1戸平均保有耕地面積が4倍になった。

そして祝梅スイカは甘かった。



昭和30年代の農作業



昭和31年 干拓前の長都原野（米軍提供）



昭和38年 祝梅スイカ



昭和41年 市営牧野



現在の市営牧野

商店街

戦後、米軍の駐留により全国から人が集まり、その後も自衛隊が来駐して商店街には活気があふれた。

平成になりバブル経済崩壊後、景気が低迷する中でも、工夫をこらした様々な催しでかつての活気を取り戻そうとしている。



昭和37年 友楽通の七夕飾り



昭和30年頃 友楽通商店街
(現・ニューサンロード商店街)



昭和46年 第1回買物公園



現在の仲の橋通でのYOSAKOIソーラン



ニューサンロードで夏祭り



昭和50年頃の第1から第3工業団地

工業団地

米軍の撤退による基地要員たちの失業対策として工場誘致が進められ、生産都市へと転換した。現在では11の工業・工業系業務団地に250社を超える企業が立地している。

企業進出とともに、高等教育機関の開学も進んでいる。



現在の第1から第4工業団地



現在の臨空工業団地（奥に泉沢向陽台住宅団地）



千歳アウトレットモール・レラを含む現在のオフィスアルカディア地区



千歳科学技術大学



北海道千歳リハビリテーション大学



日本航空専門学校

災 害

千歳生まれ千歳育ちの人が辛い思い出として語るのは、昭和29・30年の幸町大火と56年の大雨被害。

そして記憶に新しいのは、平成20年の多くの車と人が埋もれた雪害と26年の道内初となる大雨特別警報である。



昭和30年の大火



昭和56年の大雨災害



平成20年の大雪災害



平成26年の土石流が発生した国道453号
(札幌開発建設部提供)

イベント

昔、特に子どもたちにとって「まつり」は何よりも楽しみだった。さまざまな娯楽が生まれて、個々に楽しむ時代になっても、やっぱり「まつり」はあふれるほどの人で賑わいをみせる。



昭和40年 千歳基地一般公開



現在の千歳基地航空祭



昭和46年 第2回市民盆踊り大会



現在の市民盆踊り大会



昭和46年 第1回千歳川まつり



現在の千歳川清掃



昭和54年 第1回千歳川さけ祭り



現在のインディアン水車まつり



平成2年 第1回北海道ビールまつり・イン・ちとせ



現在のスカイ・ピア&YOSAKOI祭



昭和54年 第1回千歳・支笏湖氷濤まつり



現在の千歳・支笏湖氷濤まつり



昭和39年 西越さけ捕獲採卵場

サーモンパーク

インディアン水車の捕魚風景は千歳の秋の風物詩となっている。

インディアン水車に隣接してサケのふるさと千歳水族館と道の駅サーモンパーク千歳がある。サーモンパークは一年を通して多くの観光客、家族連れで賑わっている。



現在のインディアン水車



サケのふるさと千歳水族館



千歳川の自然のままの川底が見られる水中観察ゾーン



大水槽



道の駅 サーモンパーク千歳

公共施設

千歳市立病院は、昭和42年に市が北海道立千歳病院の移管を受けたことにはじまる。

昭和37年、千歳初の本格的な文化施設として市民会館が建設された。現在の市民文化センターは59年、市立図書館は63年にオープンした。



昭和44年 市立病院



現在の市立千歳市民病院



昭和38年 市民会館



現在の市民文化センター大ホール



昭和39年 公民館図書室（市民会館2階）



現在の市立図書館

スポーツ



昭和63年 千歳・日航国際マラソン

初夏には、新緑の森を走る千歳 JAL 国際マラソン、冬は歩くスキーの大会・ちとせホルメンコーレンマーチが毎年開催されている。かつての千歳・日航国際マラソンでは、市民を中心街に呼び込もうと、千代田町のもりもと店舗前をスタート地点とした時代もあった。



現在の千歳 J A L 国際マラソン



ちとせホルメンコーレンマーチ



現在の千歳市温水プール



昭和37年 市営プール

アイヌ文化

千歳の大地で暮らしてきたアイヌ民族の様々な伝統文化が伝承されている。

古式舞踊は国の重要無形民俗文化財に指定され、ユネスコ無形文化遺産に登録されている。



マレッ（鉤鉈）によってサケを捕る伝統漁法



アシリチェブノミ サケの初漁をカムイ（神）に感謝する儀式 サンペ（心臓）を取り出しアベフチカムイ（火の神様）に供える



イチャルパ 先祖や死者の供養
たくさんのイナウと供物が供えられる



ホリッパ
右に回りながら輪になって踊る

指定文化財

千歳市には国指定史跡2カ所、同重要文化財3件、同重要無形民俗文化財1件とともに、市指定史跡1カ所、同有形文化財6件、同無形文化財2件がある。



千歳神社境内釜加神社弁財天御厨子
(市指定有形文化財)
「千歳」命名の由来が裏面に記されている



山線鉄橋（市指定有形文化財）
平成19年に経済産業省の近代化産業遺産、30年には土木学会選奨土木遺産にも認定された北海道最古の現役鉄橋
明治32年にイギリスから輸入された鉄道橋で昭和2年に山線の橋として支笏湖千歳川呑口に架けられた
現在は歩道橋



泉郷獅子舞（市指定無形文化財）
泉郷地区に明治29年頃から伝わる獅子舞
9月に門付けや泉郷神社で舞が披露される 写真は「七五三の舞」

『新千歳市史 通史編 下巻』 ―千歳鏡―

の発刊にあたって

千歳市長 山口 幸太郎



千歳が市制を施行して60周年を迎え、平成から新しい元号へと変わる時代の転換の年に、戦後史を内容とした『新千歳市史 通史編 下巻』を発刊する運び

となりました。

平成22(2010)年3月に『新千歳市史 通史編 上巻』を発刊し、この下巻発刊により新千歳市史編さん事業が完了します。15年から長きにわたり本事業に対し格別のご尽力を賜りました市史編さん委員、執筆者、情報・写真等資料提供などご協力いただきました市民の皆様をはじめとした多くの方々に厚くお礼申し上げます。

千歳は、古くは蝦夷地の太平洋側と日本海側を結ぶ内陸交通の要衝として栄え、現在は、年間乗降客数2000万人を超える北海道の空の玄関口である新千歳空港を抱え、高速自動車道と鉄道が密接に連結した空陸の交通拠点都市として発展を続けています。

先人が守り育ててきた空港の活況が、ホテルなど受入れ施設の拡充、新たな企業の進出や雇用の創出、定住人口および交流人口両面の拡大という好循環を生み、まちの活性化を牽引する大きな力になっています。平成30年4月には、目標とした人口9万7000人を達成し、勢いをさらに加速させ、10万人を目指すまちづくりを進めています。

千歳の戦後は、他に類を見ない激動と発展を遂げてきました。米軍の駐留による混乱と好景気、撤退によって解雇された駐留軍要員の失業対策から工業団地を造成し生産都市へと転換、新産業都市の指定を受けました。昭和27(1952)年の保安隊千歳駐屯地の開庁にはじまり、29年からは自衛隊が駐屯し、日本一の駐屯地・基地の所在地となりました。また、千歳空港・新千歳空港は国内有数の国際空港となり、工業団地の造成・企業の進出、増加を続ける人口など成長し続ける一方で、国立公園・支笏湖、清流千歳川の自然やアイヌ文化などは変わらずに残す努力が重ねられてきました。

戦後の歴史を綴った下巻は、上巻に続いて5編からはじまり、5編ではまちの大きな進展がわかる行政概略史、6編は16分野に分けた部門史、7編では年表や人口の推移などの資料を掲載する構成となっています。

執筆者は48人にも及び、そのほとんどが郷土を知る地元の方々にお願いしました。担当分野を細分化したことにより、資料収集・聞き取りなどより深い調査を行うことができ、それぞれに思いが込められた内容となっています。

今ある千歳の姿が、どのような人々によってどのような時代を経て形作られてきたのか。何を考え、何を目指して現在の千歳へとつながるのか。それぞれの時代を映し出す「鏡」のようにまちの歴史を綴る史書として、『新千歳市史』に「千歳鏡」という副題を添えました。

本書が市民の皆様をはじめ、より多くの方々に活用され、千歳を知り、先人の想いを知ること、郷土・千歳のまちづくりへの関心が高まることを祈念いたします。

平成31(2019)年3月

例言

1 本書は上巻から継続する千歳の通史編下巻であり、扱う期間は第二次世界大戦の終戦後から平成26年度までを目途とした。なお、連続性のある事象や新発見などで、特に必要な場合は終戦以前や27年度以降についても記述した。

2 文章の体裁などは次の諸項によった。

- (1) 数字は漢数字の入った熟語などを除き、アラビア数字を用いた。
- (2) 年代表記は和暦を用い、必要に応じて西暦を（ ）内に示した。同一年号が連続する場合は年号を省略した。月日は明治5年12月2日までは旧暦、6年1月1日（旧暦5年12月3日）からは新暦による。なお、平成は31年4月30日までであり、それ以降は西暦のみで表記した。

(3) 漢字は原則として常用漢字を用いた。ただし固有名詞、歴史的用語、専門用語などについては必ずしもこの原則によらず、難読と思われる用語にはふりがなを付した。

(4) ひらがなは「現代仮名遣い」を基本に用いた。

(5) 単位のキロメートル、キログラムは「キ」に省略した。

(6) 写真や図表は章ごとの通番とした。

(7) 本文中の敬称は省略した。ただし、天皇、皇族は「陛下」、「殿下」を付し、故人となった天皇、皇族には付していない。

(8) 戸長役場の開庁記念行事名称等に用いていた「開基」に代わり、平成9年から「開庁」が用いられているが、本書ではそれ以前の行事や事業の名称は「開基」のまま表記した。

3 資料等からの引用については次の諸項によった。

(1) 記述の中で引用文を付記する場合は「 」で括るか、長文の場合は改行し行頭を下げ、文字を小さくして記載した。

(2) 引用元は本文中に記述するか著者と発行年もしくは文献名のみを（ ）内に示した。

(3) 引用文中に現在では不適切と判断される文言も含まれているが、当時の世相や時代背景を示すものとして原文のまま記載した。

(4) 引用文中の誤字脱字については基本的に訂正していない。引用者が説明や強調のために傍線や傍点を付していることがある。

4 千歳市が作成発刊した市史の書名を次のように省略し使用した。

『千歳市史』（昭和44年刊）↓『市史』

『増補千歳市史』（昭和58年刊）↓『増補』

『新千歳市史 通史編上巻』（平成22年刊）↓『新市史（上）』

5 参考にした文献、ホームページ等は各項末または各節末に記載した。

6 本書の編さん事業に際し左記の機関、団体、個人等に資料や情報の提供などご協力をいただいた。厚く感謝を申し上げる。

(1) 機関等 ASAチトセ協会、NHK千歳支局、朝日新聞社千歳支局、井坂商会、尾谷内科、環境省支笏湖自然保護官事務所、環境省支笏洞爺国立公園管理事務所、航空自衛隊、国土交通省北海道開発局札幌開発建設部千歳道路事務所、千正寺、自衛隊札幌地方協力本部、第一管区海上保安本部千歳航空基地、樽前山神社、千恵公益社、千歳アイヌ協会、千歳アイヌ文化伝承保存会、千歳医師会、千歳桂病院、千歳観光連盟、千歳警察署、千歳工業クラブ、千歳公共職業安定所、千歳山岳会、千歳商工会議所、千歳市商店街振興組合連合会、千歳社交飲食組合、千歳市森林組合、千

歳市立末広小学校、千歳神社、千歳相互観光バス、千歳第一病院、千歳地区ハイヤー事業協同組合、千歳病院、千歳豊友会病院、千歳民報社、駐留軍等労働者労務管理機構三沢支部、道央農業協同組合千歳営農センター、苫小牧観光協会、苫小牧山岳会、苫小牧市産業経済部産業振興室、苫小牧市美術博物館、苫小牧信用金庫千歳支店、日本航空専門学校、日本郵便北海道支社、北央信用組合千歳支店、北星病院、北門信用金庫千歳支店、北洋銀行千歳中央支店、北海道空港、北海道新聞千歳支局、北海道信用金庫千歳支店、北海道空知総合振興局札幌管理建設部千歳出張所、北海道千歳高等学校、北海道千歳リハビリテーション大学、北海道中央バス、北海道千歳北陽高等学校、北海道農政事務所、北海道ハイヤー協会、北海道旅客鉄道千歳駅、北海道労働金庫千歳支店、毎日新聞社北海道報道部千歳、みなみ北海道農業共済組合石狩支所南部家畜診療センター、読売新聞社千歳通信部、陸上自衛隊

(2)

個人 泉田健一、岩本秀之、内山幸二、大島仁、小野寺正利、萱場利通、木田橋幸子、木谷美次、熊谷昭、小泉弥吉、幸田恒弘、小林和子、小林典幸、佐伯邦昭、坂野春雄、佐々木信雄、佐々木博司、佐々木美津子、佐藤進、三溝邦雄、高梨政雄、高橋貞敏、竹田勇、田代恵治、千葉信一、戸田肇、中居雅和、中川一昌、新沼友啓、西牧清、畠山克則、浜頭孝一、板東けん一、福土国治、藤田重治、増井時治、宮坂省吾、山内智士、山口良二、若松幹男、和田明彦

新千歳市史 通史編 下巻 目次

口 絵

発刊にあたって 千歳市長 山口 幸太郎

例 言

第5編 戦後の行政

第1章 行政と議会

第1節 占領と復興の時代（昭和20～30年）

第1項 道内外の政治・経済情勢と千歳 3

終戦と戦後処理／守られた千歳飛行場／GHQの戦後改革と日本国憲法／過去の清算極東国際軍事裁判所／朝鮮戦争と千歳／オクラホマ州兵第45師団／米軍基地要員の解雇／サンフランシスコ講和条約／新たな出発

第2項 千歳の行政等 8

地方自治の民主化と町政／初の民選選挙／千歳町総合開発計画／湖畔・東部支所の開設／選挙管理委員会／千歳町警察の設置と廃止／支笏洞爺国立公園指定／開町70周年記念行事／町役場庁舎移転／広報事業の開始と駐在員制度／美笛支所開設／町章の制定／昭和天皇の戦後巡幸

／占領と復興の時代の財政

第2節 高度経済成長の時代（昭和30～48年）

第1項 道内外の政治・経済情勢と千歳 20

高度経済成長／新しい指導者の登場／所得倍增計画／流通革命／東西冷戦／重化学工業の時代へ／民間空港として再スタート／かける経済情勢／米軍基地の閉鎖／変動相場制への移行／中流意識の形成とその崩壊

第2項 千歳の行政等 25

市政への準備と施行／山崎町長市長就任／市役所の機構改革／市営ガス事業開始／二基地土地訴訟／第2代市長

米田忠雄／開基80周年記念事業／旧犬上牧場訴訟／植樹祭と行幸啓／市議会リコール問題／千歳市総合建設計画／東京オリンピック聖火リレー／工業団地造成の端緒／長都原野の干拓／清く明るく正しい選挙都市宣言／アンカレジ市と姉妹都市提携／開基90周年記念行事と『千歳市史』の刊行／江別市有林買収／千歳市第2期総合開発計画／札幌オリンピック恵庭岳滑降競技／高度経済成長の時代の財政

第3節 安定成長とバブルの時代（昭和48～平成3年）

第1項 道内外の政治・経済情勢と千歳 52

移り変わる千歳の町／低成長時代への転換／経済大国への道／プラザ合意とバブル／日米構造協議／冷戦から地域紛争／全総と国土開発／ルーブル合意／円高とバブルの崩壊

第2項 千歳の行政等 57

第4節 失われた20年の時代（平成3～26年）

第1項 道内外の政治・経済情勢と千歳

千歳原・第6回日本ジャンボリー／人口6万人突破／千歳市・恵庭市境界問題解決／第3代市長東峰元次／米軍千歳基地完全閉鎖／市庁舎新築移転／千歳鉦山職住分離と美笛支所閉鎖／道央テクノポリス／泉沢開発／開基100年記念行事と関連事業／国鉄千歳線高架供用／中心市街地の再開発／千歳市第3期総合開発計画／台風12・15号と前線による大雨／千歳市・長沼町境界確認調査／農民研修センターの設置と東部支所の移設／人口7万人突破／住民基本台帳オンラインシステム導入／第4代市長梅沢健三／戸長役場開庁110年記念式・開基110年記念式典／北海道航空宇宙博覧会／ちとせ'89先端産業展／千歳市第4期総合計画／市役所庁舎等土曜開庁制実施／人口8万人突破／安定成長とバブルの時代の財政

93

第2項 千歳の行政等

第5代市長東川孝／美々プロジェクト／国連フォーラム／情報公開制度／総合武道館落成／新千歳空港24時間運用住民合意／指宿市と姉妹都市提携／千歳サケのふるさと館／千歳命名190年シンポジウム／東京事務所／向陽台支所／マルチメディア情報センター／窓口業務の拡

98

第5節 選挙

第1項 投票所の変遷

大／行政改革・民間委託の推進／千歳駅のエレベーターとエスカレーター／千歳川放水路計画の中止／千歳命名195年・戸長役場開庁120年記念式典／千歳市新長期総合計画／市民病院の開院／ISO14001（環境マネジメントシステム）認証取得／循環型コミュニティバス運行／東京千歳会の誕生／人口9万人突破／第6代市長山口幸太郎／市民協働のまちづくり／第4次行政改革での指定管理者制度など民間活力の導入／住民参加型市場公募債／家庭ごみの有料化／天皇皇后両陛下サケのふるさと館視察／在日米軍再編に伴う千歳基地への訓練移転／収入役の廃止と副市長の誕生／暴風雪害自衛隊への派遣要請／J8サミット2008千歳支笏湖／市制施行50周年記念行事・『新千歳市史通史編上巻』刊行／戸長役場開庁130年・千歳命名205年記念事業／千歳市第6期総合計画／ネーミングライツの導入／大雨特別警報・避難勧告発令／失われた20年の時代の財政

138

第2項 投票所の変遷／開票の変遷

町長・市長

140

第3項 町議会

終戦直後の町会議員／昭和22年町会議員選挙／昭和26年町議会議員選挙／昭和30年町議会議員選挙

142

第4項 市議会

143

昭和34年市議会議員選挙／リコール／昭和36年市議会議員選挙／昭和40年市議会議員選挙／昭和44年市議会議員選挙／昭和48年市議会議員選挙／昭和52年市議会議員選挙／昭和56年市議会議員選挙／昭和60年市議会議員選挙／平成元年市議会議員選挙／平成5年市議会議員選挙／平成6年市議会補欠選挙／平成9年市議会議員選挙／平成13年市議会議員選挙／平成17年市議会議員選挙／平成21年市議会議員選挙／平成25年市議会議員選挙	151
第5項 議会改革	151
議員定数削減／議員報酬・政務活動費／開かれた議会と議会運営の効率化／補助金交付団体等の役員就任辞退／議会改革推進プラン	155
第6項 道議会・国会	155
北海道議会千歳市選出議員／衆議院北海道1区・5区選出議員	157
第6節 まちの伸展に貢献した人々	157
第1項 名誉市民	157
名誉町民の設置と功績	157
第6編 部門史	163
第1章 農林水産	163
第1節 戦後開拓	163
戦後の農地改革／戦後開拓／作物報告事務所／農業委員会の発足	163

第2節 農業協同組合	168
第1項 農協の設立と統合	168
農業協同組合法の制定／総合組合の設立／その他組合の設立	168
第2項 市農協の設立、3農協の動き（昭和期）	170
千歳町農協の休眠／千歳農業協同組合の設立（S34～千歳市農協）／市・東千歳・市開拓3農協の動き	170
第3項 農協の再編	173
千歳市農協と東千歳農協の合併／新生千歳市農業協同組合発足／道央農業協同組合発足／千歳市駒里農業協同組合と千歳駒そば／千歳市開拓農業協同組合の解散	173
第3節 稲作・畑作	176
第1項 国の施策と市内農業の振興	176
国の施策／千歳の農業振興	176
第2項 水 稲	180
戦後の作付品種と作業の機械化／米の生産調整／最近の市内米事情	180
第3項 小 麦	182
第4項 豆 類	183
第5項 てん菜	184
第6項 野菜・果樹	186
市内の野菜作付面積の推移／馬鈴薯／ハスカップ	186
第7項 薬用作物	190
第8項 企業による農業経営と生産委託	191
トマトの大規模ガラスハウス／キューサイファーム千歳	191

との契約栽培

第4節 畜産

第1項 馬産・軽種馬

第2項 酪農・肉用牛

酪農／肉用牛／市営牧野

第3項 養豚

第4項 養鶏

第5項 市営「と畜場」・食肉処理センター

千歳と畜場／市営食肉処理センター

第6項 畜産防疫

家畜法定伝染病／豚コレラ／牛（鼻気管炎・口蹄疫・狂牛病）／鳥インフルエンザ／千歳市家畜衛生センター（石狩南部家畜診療センター）

第5節 耕地

第1項 長都地区の開発

長都沼・馬追沼の干拓／総合かんがい排水事業（南長都地区Ⅱ泉郷・中央）／開拓パイロット事業（中央長都地区）／国営総合かんがい排水事業（ネシコシ地区Ⅱ根志越・中央・祝梅・泉郷）

第2項 農業基盤整備

町や農業団体による耕土改良／釜加・中長都・長都地区／東千歳地区／根志越・都地区／泉郷地区／駒里地区／農道整備／南長沼用水路頭首工移設問題など

第3項 千歳川放水路計画

第6節 農業の諸相

農村集団自動電話開通／千歳地区農協同報無線／観光牧場・農園／千歳千歳の取り組み／駒里地域農村再生特区／グリーン・ツーリズム／道央農業振興公社／農業従事者と耕地面積の推移／農業産出額（農業粗生産額）の推移

第7節 林業

第1項 国有林

御料林の編入／千歳、支笏森林事務所の沿革と森林施業／第12回植樹祭と前後の諸相

第2項 民有林

千歳市森林組合／森林愛護組合／森林の現状と森林整備

第8節 水産業

第1項 さけ・ます

千歳川さけ・ますふ化事業の変遷／千歳川のサケ捕獲数推移

第2項 ヒメマス

支笏湖ヒメマスふ化事業の変遷／泉沢養魚場／ヒメマス移植100年／ヒメマスフォーラム

第3項 民間の水産

千歳川の真珠養殖／ニジマスの養殖

第2章 鉱工業

第1節 鉱業

第1項 千歳鉱山

戦後の千歳鉱業所／職住分離と休山	
第2項 地下資源	250
石炭／天然ガス／砂利	

第2節 工業

第1項 北信濃工業団地	253
-------------	-----

市営工業団地の発端と造成／製造業誘致の始まり／企業誘致と進出企業／第3工業団地と隣接工専地域／千歳の工業（昭和50年）／工場緑化／工業再配置促進法／工業団地名称変更／第4工業団地

第2項 千歳臨空工業団地	267
--------------	-----

千歳臨空工業団地の開発／企業誘致／千歳サイエンスパーク

第3項 工業都市としての発展	271
----------------	-----

道央テクノポリスと地方拠点都市地域／千歳美々ワールドの分譲と企業誘致／工業系業務団地／土地リース制度等の新たな取組／新千歳空港ロジスティクスセンター／千歳市の工業団地の特徴／製造品出荷額等の推移／千歳工業クラブ

第3章 商業・金融

第1節 商業

第1項 経済の混乱	284
-----------	-----

物価統制令・物価監視員

第2項 商業団体	285
----------	-----

商業組合から商業協同組合へ／千歳商工会／千歳商工会

議所	
第3項 消費者団体	288
千歳市消費者協会	

第4項 通りの商店街と大型店	290
----------------	-----

各商店街の法人化／千歳市商店街振興組合連合会の設立／中心街C地区市街地再開発事業／錦町・幸町地区市街地再開発事業／ニューサンロード・アーケード／大規模小売店舗（大型店）の進出／コンビニエンスストアの台頭／グリーンベルト地下駐車場・地下連絡通路／商業活性化事業

第5項 その他の商業施設	306
--------------	-----

千歳ワールドマーケット・プレイスNEWS／千歳アウトレットモール・レラ／千歳駅前大型商業施設「ペウレ千歳」

第6項 飲食業	309
---------	-----

市内飲食業の推移

第7項 卸売市場	312
----------	-----

非公認民営市場による生鮮食料品流通／商工会議所による卸売市場運営会社の設立／丸市市場による生鮮食料品流通／市場一元化の動き／卸売市場法に基づく公設地方卸売市場の開設／売上高の低迷による卸売業者の交替／岐路に立つ卸売市場

第2節 金融	317
--------	-----

北海道拓殖銀行／北洋銀行／札幌銀行／北海道銀行／札幌信用金庫／苫小牧信用金庫／北門信用金庫／北央信用

第4章 観光

第1節 支笏湖

第1項 国立公園支笏湖	323
-------------	-----

国立公園指定と公園計画／支笏洞爺国立公園指定50周年記念フォーラム／ユースホステル「赤い三角屋根」／国民休暇村／王子製紙苫小牧工場倶楽部別邸／支笏湖ビジターセンター

第2項 支笏湖の自然	331
------------	-----

ピスンモラップ山とキムンモラップ山／紋別岳／風不死岳／恵庭岳／樽前山／オコタンペ湖／巨木の森と美笛の滝／苔の洞門／支笏湖地域のヒグマ

第3項 支笏湖の観光	341
------------	-----

山線鉄橋／王子製紙千歳川第一発電所／遊覧船／ヒメマス釣り／湖畔商店街／野営場／まつり

第4項 支笏湖の温泉	353
------------	-----

温泉開発／ホテル・旅館

第2節 観光一般

第1項 千歳の観光	358
-----------	-----

観光誘致の振興／サケのふるさと千歳水族館とサーモンパーク／観光客人込動向

第2項 観光連盟	362
----------	-----

千歳観光協会・千歳観光連盟／千歳音頭／千歳音頭の歌詞の不思議

第3項 市街の宿泊施設	365
-------------	-----

旅館・ホテル

第4項 各種行事	366
----------	-----

インディアン水車まつり／空港まつり／北海道ビールまつり・イン・ちとせ／駐屯地・基地一般開放／工場開放／観光物産（観光連盟推奨品）

第5章 交通・通信

第1節 飛行場・空港

第1項 基地内ターミナル	372
--------------	-----

敗戦直後の定期航空と航空禁止令／民間航空再開に向けて／民間航空再開／基地内ターミナルの時代／日航機連山滑走路着陸／航空政策（昭和37年）／千歳航空協会と航空少年団

第2項 千歳空港	385
----------	-----

ターミナルビル／「45・47体制」下の千歳／航空貨物／国際空港・千歳から世界へ

第3項 新千歳空港	397
-----------	-----

新空港の建設運動／新千歳空港開港／新管制塔運用開始／国際エアカーゴ基地構想／24時間運用／第2ターミナルビル問題と滑走路延長合意の白紙撤回／新千歳空港旅客ターミナルビルの建設／B滑走路の建設／気象庁ドックプラレーダー／旧共産圏からの乗り入れ緩和／国際ターミナルエリアの拡充と新ビル建設／国内線ターミナルビルのリニューアル／乗降客数の推移と就航路線の沿革

／貨物取扱量の推移／国内航空会社の推移と格安航空会社
社の参入／新千歳空港の特徴／千歳飛行場を造った村民
顕彰の碑と空港公園

第2節 鉄道

第1項 千歳線

.....
RTOの時代／昭和20年代の千歳線／千歳駅全焼／白紙
改正と本線化（昭和30年代）／千歳市内専用線／長都駅
開業／札幌駅0番ホーム／線路移設と複線化（昭和40年
代）／鉄道高架・電化の建設

第2項 石勝線建設

.....
南部横断線の胎動／追分線起点問題／石勝線の建設／石
勝線開業

第3項 空港連絡鉄道

.....
千歳空港駅開業／快速列車の運行／超電導リニアモータ
ーカー／市内駅の諸相

第3節 道路

第1項 戦後初期の道路行政

.....
戦後初期の道路の整備／札幌開発建設部千歳道路事務所
／空知総合振興局札幌建設管理部（旧札幌土木現業所）
千歳出張所

第2項 主要幹線の整備

.....
国道36号（弾丸道路）／市街地の舗装（昭和30年代）／
モータリゼーション時代の到来と舗装（昭和40年代）／
千歳方式簡易舗装（昭和50年代）／近年の道路舗装と課
題／恵千バイパス（千歳バイパス）／国道453号／国

道276号（支笏国道・美笛峠新ルート）／道道16号支
笏湖公園線／サイクリングロード／シーニックバイウエ
イ／主要市道の推移／道央圏連絡道路／道央自動車道／
新千歳空港インターチェンジ（道道新千歳空港インター
線）／道東自動車道／電線類地中化

第3項 その他

除雪行政

第4節 バス

第1項 市内路線バス

.....
千歳のバス事業の始まり／戦後のバス復興／千歳近郊の
路線拡大（北海道中央バス）／支笏湖へのバス路線（苦
小牧市営バス・支笏湖観光バス）／市内バスの運行（千
歳バス）／市内バス路線の伸長／千歳バス譲渡・千歳相
互観光バス（株）／千歳市公共交通システム整備基本計画／
千歳駅周辺交通バリアフリー基本構想／乗合バス需給調
整規制廃止／循環型コミュニティバス「ビーバス」／
路線網再編後の市内バス／路線変更に対する市民の動き
／千歳市地域公共交通会議／東千歳定期貸切バス／おさ
つジャンボバス／新たな交通戦略

第2項 市外連絡バス

.....
北海道中央バス（株）／北都交通（株）／道南バス（株）／夕張鉄道
（株）・夕鉄バス／あつまバス（株）／ニセコバス（株）

第5節 ハイヤー

ハイヤー・タクシー

第6節	交通一般……………	479
	市内自動車登録台数・特徴／交通安全都市宣言	
第7節	郵便……………	482
	千歳郵便局／市内特定郵便局・簡易郵便局／千歳郵便局・郵便事業会社千歳支店	
第8節	電信電話……………	486
	千歳電報電話局・千歳電話中継所／紋別岳無線中継所／連合国軍基地内・千歳特別電話局／電話の自動即時化・電話サービス／市内局番「2ケタ」へ移行／電話加入状況／公衆電話／電報／自動車電話・携帯電話／インターネットの普及と地域情報の発信	
第9節	テレビ・ラジオ……………	494
第1項	テレビ……………	
	テレビ放送とチャンネル数／市内のテレビ普及と街頭放送	
第2項	ラジオ……………	495
	戦後のラジオ放送	
第10節	マスメディア……………	497
	地元紙の変遷／全国・ブロック紙、テレビの支局等／千歳市政記者クラブ	
第6章	まちづくり……………	
第1節	公営住宅……………	501
第1項	海軍官舎の転用と町営住宅の始まり……………	
	終戦に伴う元海軍官舎の転用／庶民住宅・引揚者住宅の	

第2項	建設／公営住宅法の施行と町営住宅の建設……………	502
	市営住宅の整備促進……………	
第3項	市制施行と市営住宅の建設／市営住宅の老朽化対策と住宅環境の改善／市営住宅建替事業の本格化／公共賃貸住宅建替10箇年戦略と再生マスタープラン／千歳市公営住宅ストック総合活用計画／千歳市公営住宅等長寿命化計画……………	507
第2節	都市計画……………	
第1項	用途地域指定……………	508
	昭和42年の用途地域／用途地域の変更……………	
第2項	市街化区域の推移……………	509
	市街化区域と市街化調整区域／昭和46年の当初線引き／線引き見直し……………	
第3項	泉沢向陽台住宅地の開発……………	512
	泉沢開発の経緯／土地利用計画／住宅地名／住宅地造成／住宅地分譲……………	
第4項	開発行為……………	519
	開発行為制度／住宅団地および工業団地の開発行為……………	
第5項	土地区画整理事業の推移……………	520
	千歳第一土地区画整理事業／末広第一土地区画整理事業／末広第二土地区画整理事業／東郊土地区画整理事業／上長都土地区画整理事業／北信濃土地区画整理事業／蘭越土地区画整理事業／祝梅土地区画整理事業／末広第三土地区画整理事業／根志越土地区画整理事業／稲穂土地	

区画整理事業／おさつ駅前土地区画整理事業／第4工業
団地土地区画整理事業／根志越第二土地区画整理事業／
北信濃第二土地区画整理事業／北陽土地区画整理事業／
根志越第三土地区画整理事業／桜木3丁目土地区画整理
事業／静和土地区画整理事業／勇舞土地区画整理事業／
蘭越エコタウン土地区画整理事業／北信濃第三土地区画
整理事業／おさつ駅みどり台土地区画整理事業／勇舞第
二土地区画整理事業／北陽高校前土地区画整理事業／あ
ずさ土地区画整理事業

第6項

新たな都市計画……………
都市計画マスタープラン／景観のまちづくり

第3節 公園

第1項

青葉公園……………
青葉公園払い下げ・整備／緑の中の総合公園／おはよう
橋

第2項

緑化7カ年計画……………

第3項

グリーンベルトと地下駐車場……………
グリーンベルト整備／グリーンベルト活性化計画

第4項

保全樹林・保全樹木……………

第5項

公園整備……………
都市公園／チトセ小公園／公園リニユーアル／千歳市公
園緑化協会

第4節 土地開発公社

第1項

土地開発公社の発足……………
公社設立までの変遷／公社の業務実績／公社の経営改善

第2項 土地開発公社の解散……………
公社の解散／公社の果たした役割

第7章 医療・衛生・環境

第1節 医療

第1項

市立病院……………
日本医療団千歳病院／道立千歳病院／市立病院開院／市
立病院の改築

第2項

市民病院の開院……………
病院増改築の検討から新築移転へ／基本構想と基本計画
／新築に向けた課題／病院建設推進本部の設置／新病院
建設地の決定／救急特例病床の増床／診療科の新設と新
規導入システム・医療機器／新病院の設計および建設工
事／新病院の名称、ロゴマーク／新病院への移転／旧病
院建物のその後

第3項

へき地診療所……………

第4項

支笏湖診療所／泉郷診療所……………
私立医療機関……………

第5項

一般診療所の変遷／私立病院／歯科診療所……………
医師会……………

第6項

千歳医師会／千歳歯科医師会／救急急病患者医療体制の
変遷……………
死因と死亡率の推移……………

第2節 衛生

第1項

国保と医療費助成……………

第2項	国民健康保険事業／子ども・老人等医療費助成 保 健	584
第3項	千歳保健所の変遷／幸病院／戦中戦後の保健活動／老人保健法制定と保健活動／市民の健康推進事業／特定健診の開始および健診体制の再構築／はばたく健康ちとせ21／感染症の発生と対応／新型インフルエンザ（A／H1N1） 葬 祭	594
第3節	墓地／合葬墓の整備／火葬場／葬儀場 環 境	
第1項	千歳町清掃条例	599
第2項	し尿処理 し尿収集／し尿処理施設	600
第3項	廃棄物処理計画と塵芥収集 塵芥計画収集／千歳市廃棄物の処理等に関する条例／千歳市廃棄物処理計画の基本構想／ごみの分別収集／市指定ごみ袋の導入と有料化／家庭ごみの有料化／ごみ収集の民間委託／大型ごみの戸別収集と有料化	601
第4項	廃棄物処理施設 市宮蘭越焼却場／千歳市清掃センター（末広）／環境センターの整備	609
第5項	廃棄物の再資源化 財団法人千歳市環境保全公社／ちとせ環境と緑の財団設立／リサイクルセンター／新たな集団資源回収システムへの移行	614

第6項	これからの廃棄物処理 道央廃棄物処理組合の設立（廃棄物の共同処理）	618
第7項	航空機騒音 騒音被害と対策運動／ファントム配備と滑走路の南方移動／学校等の騒音対策／集団移転と防音工事／深夜早朝民航機騒音／NHK受信料減免／共同受信施設の設置	619
第8項	大 気 大気汚染／脱スバイクタイヤ	626
第9項	水 質 河川・湖沼の水質／水質保全とゴルフ場開発問題（蘭越）／水資源保全地域指定	628
第10項	自然環境 緑のマスタープラン／自然環境保全地区指定	635
第8章	社会福祉	
第1節	福祉施策 第1項 福祉の諸相 戦後の福祉（引揚者）の状況／民生委員・児童委員／社会福祉協議会／福祉団体／地域福祉計画／千歳市総合福祉センター	639
第2節	生活保護 低所得者等要保護対策／生活保護受給者の推移	648
第3節	児童福祉 第1項 児童福祉施設 児童福祉の概要／市立保育所／季節保育所・へき地保育	651

所／保育所の民営化／私設保育園／家庭内保育室／夜間 保育所／幼保連携型認定こども園	662
第2項 子育て支援	662
子育て支援計画と支援事業計画／児童館・学童クラブの 開設／子育て総合支援センター・子育て支援センター／ ファミリー・サポート・センター／子育てするなら千歳 市	668
第4節 高齢者福祉	668
第1項 概要と施策	668
高齢者福祉の概要／高齢者保健福祉計画・介護保険事業 計画	671
第2項 高齢者施設	671
養護老人ホーム千寿園／特別養護老人ホーム暢寿園／特 別養護老人ホーム「やまとの里」	674
第3項 在宅福祉	674
家庭奉仕員の派遣事業など初期の在宅福祉サービス／在 宅福祉総合センター「ほっとす」・祝梅在宅福祉センター 「祝梅ほっとす」／在宅介護支援センター／デイサービス センター／福祉サービス利用券／敬老年金／地域包括支 援センター／千歳市しあわせサポートセンター	685
第5節 障がい者福祉	685
第1項 概要と施策	685
障がい者福祉の概要／千歳市障害者計画・千歳市障害者 福祉計画／身体障がい者施策／こども療育の施策	685
第2項 障がい者福祉の諸相	685

福祉の店「るぴなす」／障がい者施策の概要／千歳市障 がい者総合支援センター（Chip）開設／民間社会福祉事 業	692
第9章 治安・災害	692
第1節 警察	692
第1項 組織の変遷	692
敗戦時の千歳の警察／警察法の制定／自治体警察千歳町 警察署／警察法の一部改正／国警千歳地区警察署と道警 千歳警察署／千歳警察署空港警備派出所、交番、駐在所 ／北海道警察総合訓練場（柏台）	699
第2項 事件・事故・警備	699
刑法犯罪発生の推移／交通事故の推移／道央自動車道 186台多重衝突事故／洞爺湖サミット警備	705
第2節 矯正教育施設	705
北海少年院／千歳少年院／紫明女子学院	710
第3節 海上保安庁	710
第1項 第一管区海上保安部	710
千歳航空基地	712
第4節 消防	712
第1項 消防組織	712
終戦後の消防体制／消防出張所／消防団／少年消防クラ ブなどの消防協力団体／消防装備の充実／救急対応／消 防広域化／消防救急デジタル無線の共同整備	721
第2項 火災	721

第5節 災害

火災発生件数の推移／2度の千歳駅焼失／市街地における3度の大火／第一清和寮の全焼／航空機用燃料タンク爆発

第1項 風雪水害

千歳の気候と地形的特徴／昭和25年8月の千歳川流域大雨水害／昭和29年台風15号（洞爺丸台風）／昭和30年7月の局地的豪雨／昭和37年8月台風9号・10号／昭和40年9月台風23号・24号／昭和50年8月前線と台風6号／昭和56年8月寒冷前線と台風12号・15号／昭和62年8月大雨・台風12号／平成16年台風18号の強風／平成20年2月暴風雪／平成26年9月大雨特別警報

第2項 地震・火山

十勝沖地震／北海道南西沖地震／東日本大震災

第3項 防災

千歳の防災・減災体制の確立／ハザードマップの作成／災害協定／活断層（石狩低地東縁断層帯）／活火山／原子力災害時の避難者受け入れ／千歳川放水路計画／千歳川流域の治水対策／千歳川上流地区河川防災ステーション／自主防災組織／防災学習交流センター「そなえる」／特殊地下壕等（防空砲台、航空隊地下施設）の戦後処理／北千歳駐屯地急傾斜地対策の推進

第10章 労働

第1節 進駐軍・駐留軍要員

第1項 要員と労務管理

米軍基地要員／渉外労務管理機関の変遷／全駐労とストライキ／クマ基地閉鎖と離職者

第2節 労働の諸相

千歳公共職業安定所／千歳職業技術専門校／スト権奪還闘争／労働力人口／雇用状況／高等学校全日制卒業者の就職状況／労働組合と組合員数／シルバー人材センター

第11章 教育・文化財

第1節 教育委員会

教育委員会・教育委員の公選／任命制教育委員会への転換／改正地方教育行政法

第2節 学校教育

第1項 小中学校

終戦時の教育事情と体制／新学制の発足／千歳の発展と小中学校の新設・統廃合／各小中学校の沿革／特殊学級（特別支援学級）の設置と変遷／スクールカウンセラー・心の教室／適応指導教室「おあしす」

第2項 学校教育の諸相

奨学資金／石狩管内初の自校式学校給食／学校給食センター／学校評議員の配置／ゆとり教育・総合的な学習の時間／千歳市の教育を考える市民会議／英語指導助手（ALT）／学習支援員の配置／千歳科学技術大学との連携

第3項	高等学校	828
	北海道千歳高等学校／北海道千歳北陽高等学校／北海道千歳高等支援学校	
第4項	千歳科学技術大学	837
	大学誘致運動の経緯／公設民営大学の方針／大学設立準備財団の設立／学校法人設立と大学設置／千歳科学技術大学の開学／ホトニクスバレー構想／大学院の開設／大学改革の取組	
第5項	専門学校・各種学校	841
	日本航空専門学校／北海道千歳リハビリテーション学院／千歳医師会看護高等専修学校／北海道電子計算機学校／その他の各種学校等	
第6項	幼稚園	846
第3節	社会教育	
第1項	戦後初期の社会教育と青年組織	848
	社会教育委員／青年組織	
第2項	戦後初期の女性団体とその後の活動	850
	千歳市女性団体協議会と愛の鐘／千歳市女性会議	
第3項	社会教育の計画	852
	社会教育長期計画／千歳市生涯学習まちづくり推進計画ひと・まち魅力プラン／千歳市生涯学習基本計画ちとせ学び愛プラン	
第4項	生涯学習	854
	若返り学園・高星大学／ママさん教室／千歳学出前講座	
第5項	青少年の育成	856

第4節	文化財	
第1項	国指定文化財	870
	史跡／天然記念物／重要文化財／重要無形民俗文化財	
第2項	市指定文化財	873
	史跡／有形文化財／無形文化財	
第3項	世界文化遺産	877
	北海道・北東北の縄文遺跡群	
第5節	スポーツ	
第1項	体育協会	879
	体育協会の変遷	
第2項	スポーツの諸相	880
	スポーツ都市宣言／第44回国民体育大会野球大会／支笏湖スキー場／支笏湖畔スケートリンク／国設モーラップ山スキー場	
第6項	社会教育関係団体	861
第7項	文化活動	862
	市民会館の建設／文化活動の発表／文化団体	
第8項	社会教育施設の設置と運用	864
	千歳市立図書館／公民館／千歳市民文化センター／千歳市民ギャラリー	
	千歳青少年教育財団の活動／青少年健全育成都市宣言／千歳市青少年の指標／千歳市青少年育成市民会議／千歳市青少年指導センター／千歳市青少年会館／青年の家支笏湖青少年研修センター／支笏湖勤労青少年フレンドシップセンター	

第3項	スポーツ大会	886
	千歳JAL国際マラソン大会／ホルメンコーレンマーチ	
第4項	スポーツ施設の建設と運用	888
	スポーツセンター（ダイナックスアリーナ）／開基記念総合武道館／温水プール／屋外スポーツ施設（青葉公園内）／屋外スポーツ施設（青葉公園以外）／学校開放	
第5項	娯楽としてのスポーツ	894
	ゴルフ／ボウリング／ゲートボール／パークゴルフ／スポーツクラブ	
第12章 市民の暮らし		
第1節	自治会・町内会	899
	住民組織と町内会／町内会館の建設／町内会連絡協議会の誕生と市町連	
第2節	コミュニティ	905
第1項	コミュニティセンター	
	自治省モデルコミュニティ地区指定・北新コミュニティセンター開設／各地域にコミュニティセンター開設	
第2項	集会施設	908
	東雲会館／末広会館／支笏湖市民センター／農民研修センター／労働会館	
第3節	市民活動と市民協働	912
	功労者表彰・市民栄誉賞／技能功労者表彰／市民文化賞・市民文化奨励賞／スポーツ賞・スポーツ奨励賞／市民憲章／市のシンボル／千歳川まつり／生涯学習のまち	

第4節	市民の楽しみ	925
第1項	お祭り	
	神社祭／市民の祭り／盆踊り／花火大会	
第2項	娯楽施設	928
	映画館／銭湯・スーパー銭湯	
第5節	宗教	932
第1項	神道	
第2項	仏教	
第3項	キリスト教	
第4項	天理教	
第5項	諸教	
第13章 公営企業		
第1節	水道	936
第1項	春日浄水場	
	終戦時の水道状況／春日浄水場からの給水／水道事業の創設認可申請／水利権の許可申請	
第2項	蘭越浄水場	941
	蘭越浄水場からの給水と事業認可の遍歴／水源地汚染／駐屯地・基地への分水／向陽台地区への通水／東千歳地区への通水／名水百選（名水ふれあい公園・名水シンポ）	
第3項	湖畔簡易水道	949
	湖畔地区簡易水道の推移	

第4項	石狩東部広域水道……………	950
	将来の水需要の増大と広域水道構想／石狩東部広域水道 企業団からの受水／千歳川からの取水開始と地下水の活 用／道央都市用水期成会／石狩東部広域水道企業団 千 歳川浄水場からの受水	
第5項	水道事業……………	955
	水道料金の変遷／水道局庁舎の変遷／水道局料金センタ ーの開設／水道事業の経営健全化	
第2節	ガス……………	
第1項	ガス工場……………	961
	市営ガス事業の開始／コークスの販売／石炭からナフサ への転換／ガス工場移転／ガス発生設備	
第2項	簡易ガス事業……………	965
	落下傘方式による供給／泉沢向陽台団地簡易ガス事業／ 新千歳空港簡易ガス事業	
第3項	ガス事業の推移……………	966
	需要家の開拓／ガス料金の変遷／導管の変遷／保安対策	
第4項	ガス事業譲渡……………	969
	北ガスへの事業譲渡／都市ガス／天然ガス化完了	
第3節	下水道……………	
第1項	下水創設計画……………	973
第2項	公共下水道当初認可……………	973
第3項	変更認可と下水道整備区域の拡大……………	974
	第1回変更認可（S44・7・26）／新都市計画法の施行 に伴う拡張／下水終末処理場の整備と水洗化／支笏湖地	

第4節	公営企業会計……………	
第1項	公営企業会計の変遷……………	980
	公営企業会計の種別／水道事業と簡易水道事業／水道（上 水道）事業会計の変遷／簡易水道事業会計の変遷／ガス 事業会計の変遷／下水道事業会計の変遷／支笏湖畔特定 環境保全公共下水道事業会計の変遷	
第14章	米軍・自衛隊……………	
第1節	米軍占領……………	
第1項	米軍千歳基地……………	989
	米軍千歳占領（朝鮮戦争まで）／飛行場の良好な維持／ 朝鮮動乱（戦争）／在千陸軍駐屯部隊／在千空軍部隊／ 支笏湖水上訓練場	
第2項	米兵と混乱……………	1003
	米兵と風紀の乱れ・特殊貸間条例／子どもたちの見たチ トセ／米兵の拠金による千歳栄光教会建設	
第2節	米軍駐留……………	
第1項	クマ基地……………	1019
	第12保安野戦部隊／OTHレーダー／米軍基地完全閉鎖 ／米兵の慈善と交流	
第3節	自衛隊の来駐……………	
第1項	日本の再軍備……………	1025
	警察予備隊の発足／保安隊への改組／保安隊千歳駐屯地	

(現・北千歳駐屯地)開庁／調達事務所(防衛施設事務所)の開設

第2項 部隊編成の確立……………1030

第1特科団の来駐／第11普通科連隊の来駐／陸上自衛隊東千歳駐屯地開庁／第1特科団北千歳駐屯地移駐／第7混成団改編・第7師団創設／第3高射群の新編／第1高射特科団編成／戦車道路／特科団北千歳飛行場／航空自衛隊第2航空団移駐と千歳基地開庁／東側滑走路新設／超音速戦闘機の時代／F-4EJ配備と滑走路南方移動／F-15J配備／千歳管制隊(航空支援集団航空保安管制群)／千歳救難隊(航空総隊航空救難団)／特別航空輸送隊(航空支援集団特別航空輸送隊)

第4節 自衛隊の拡充

第1項 近年の動き……………1056

災害派遣／海外派遣／陸上自衛隊の援農と部外協力／隊区担当部隊・第11普通科連隊／在日米軍再編に伴う訓練移転／防衛計画の大綱と自衛隊体制維持運動

第2項 千歳の所在部隊史……………1064

陸上自衛隊第7師団／陸上自衛隊第1特科団／陸上自衛隊第1高射特科団／その他、陸上自衛隊の特徴的な部隊／航空自衛隊千歳基地／防衛省技術研究本部札幌試験場

第15章 アイヌ民族

第1節 社会的環境

第1項 民族的活動の変遷……………1072

北海道ウタリ協会千歳支部等の活動概要／少数民族・先住民民族問題／アイヌ文化振興法／蘭越生活館

第2節 文化の継承と普及

第1項 文化の保存と伝承・普及……………1077

千歳アイヌ文化伝承保存会／アイヌ文化の復活／千歳アイヌ語教室／美笛のシラツチセのカムイホブニレ／千歳のアイヌ文化に関わる出版活動／伝承者とその業績

第2項 市民とアイヌ文化……………1090

市民が演じた野外劇「いのち宿る水」／チセのある小学校

第16章 姉妹都市交流・国際会議

第1節 姉妹都市

第1項 アンカレジ市……………1094

姉妹都市提携の経緯／姉妹都市提携盟約書調印／姉妹都市交流

第2項 指宿市……………1097

姉妹都市提携の経緯／姉妹都市交流

第2節 友好親善都市……………1099

ノルウェー王国コングスベルグ市との交流／中華人民共和国吉林省長春市との交流

第3節 その他の交流……………1101

千歳市立桜木小学校とサイパン島ガラパン小学校／千歳高等学校と大韓民国空港高等学校／千歳観光連盟と大韓民国済州特別自治道観光協会

第4節 国際会議	1102
----------	------

国際連合アジア・太平洋経済協力千歳会議／国際会議の
開催状況／千歳科学技術大学での国際会議

索引	1227 1226
----	-----------

『新千歳市史』編さん事業を終えて

第7編 資料

千歳の町名	1107
-------	------

第1項 明治、大正、昭和前期の地名

村名と大字名／昭和8年の14区名／昭和17年の字名改正
(第一土地区画整理事業)／昭和24年の町字名施行／昭和
26年の命名

第2項 昭和後期以降の地名	1112
---------------	------

昭和32年の一部字名の廃止／第2次土地区画整理事業(末
広地区)／北信濃地区の開発／祝梅・根志越地区の開発
／泉沢向陽台の開発／蘭越地区の開発

千歳の人口	1120
-------	------

人口推移／地域別人口／性比／人口ピラミッド

千歳市の各会計年度別決算状況	1128
----------------	------

小説の中にみる千歳

映画の中にみる千歳

千歳歴史年表	1148
--------	------

編さん委員会	1197
--------	------

執筆者一覧

執筆分担一覧	1199
--------	------

